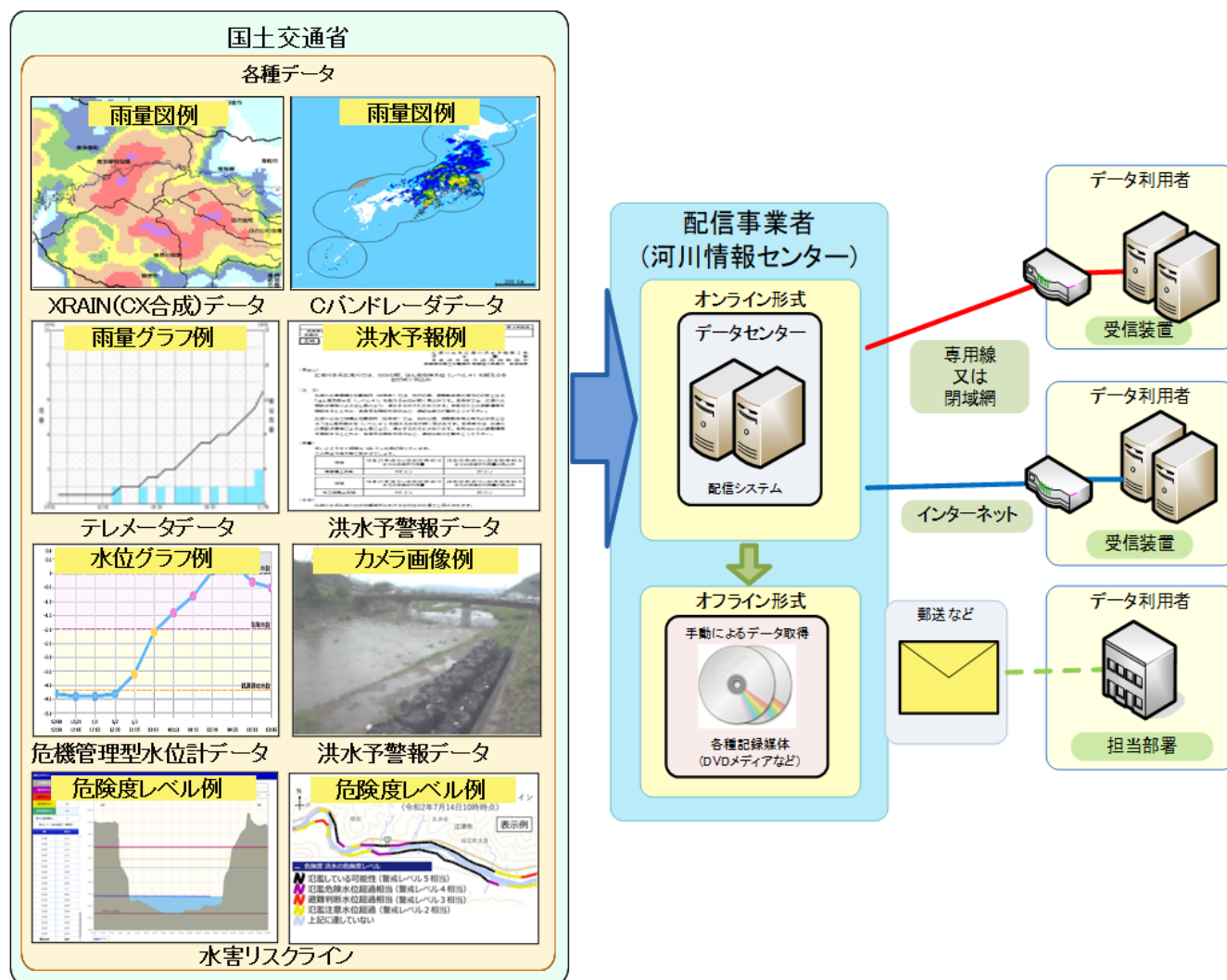


水防災データ提供サービス

「水防災オープンデータ提供サービス」は、河川情報の利活用促進を目的として、国や都道府県が観測したレーダ雨量、テレメータ雨量・水位、危機管理型水位計、河川カメラ画像（簡易カメラ、CCTVカメラ）、国が発令する洪水予報等、水害リスクラインの河川情報数値データを、受信希望者に対して有償（実費相当額を賄う範囲内）で配信する事業です。

「水防災データ提供サービス」のデータの流れ



データ配信方式

◆ リアルタイム方式(専用線・閉域網利用)

リアルタイム方式は、水防災オープンデータ提供サービスにて専用線又は閉域網(VPN回線)を用いてデータ配信されるデータを利用者が受信する方式で、TCP/IPソケット通信方式を使用しています。

利用者に配信方式を選択していただく必要がありますが、安定性、即時性を必要とする場合や多数のデータ受信を行う場合に適した方法です。

◆ 準リアルタイム方式(インターネット利用)

準リアルタイム方式は、インターネット上の配信サーバから利用者がデータファイルをダウンロードする方式です。各データは、決まった配信周期でデータ配信され、ほぼリアルタイムでデータ受信できます。

ただし、リアルタイム方式と比較すると、配信までの時間遅延が大きいため、即時性を必要とせず、受信する地域や地方を限定してデータ受信を行う場合に適した方法です。

◆ 蓄積一括方式(インターネット利用)

蓄積一括方式は、1日単位にまとめた過去データをインターネット上の配信サーバから利用者がデータファイルをダウンロードする方式です。1日単位にまとめた過去のデータを配信しますので、即時性を必要とせず、一括でデータ受信を行う場合に適した方法です。

データ配信項目

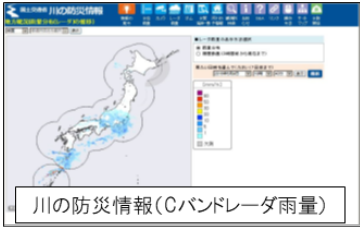
◆XRAINデータ

国土交通省が設置している、XバンドMPレーダとCバンドMPレーダの観測データを合成して作成した250mメッシュのレーダ雨量データです。
このデータは、全国エリアの観測範囲を6地域に分割した現況データもしくは1次メッシュ単位に細分化し、ユーザが1次メッシュ単位で任意に選択した現況データを1分間隔で配信します。
また、XバンドMPレーダとCバンドMPレーダの観測データ（RAWデータ及び1次処理データ）も配信できるようになりました。（令和4年5月）



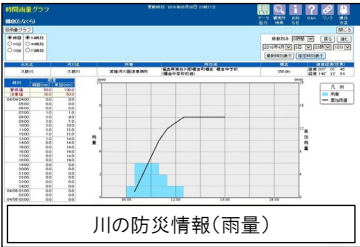
◆Cバンドレーダ雨量データ

国土交通省が設置している、Cバンドレーダで観測したデータを全国合成した雨量データです。
現況雨量1kmメッシュ、現況雨量5kmメッシュの現況データ、累加雨量1kmメッシュのデータ（10分から48時間まで8種類）を5分間隔で配信します。
※累加雨量データ8種類：10分,30分,60分,3時間,6時間,12時間,24時間,48時間の累加雨量のセット



◆テレメータデータ（国土交通省 及び 都道府県）

国土交通省及び各都道府県が設置している、河川、ダム管理等に用いる観測機器から得た雨量、水位、ダム諸量のデータは、種別毎、地域毎※の単位で10分間隔で配信します。
積雪、水質（PH等）、海岸（潮位、波高等）のデータは、種別毎、全国エリアで配信します。積雪、水質は60分、海岸は10分間隔で配信します。
※地域毎：国土交通省のデータは、地方整備局単位で配信します。
都道府県のデータは、都道府県単位で配信します。



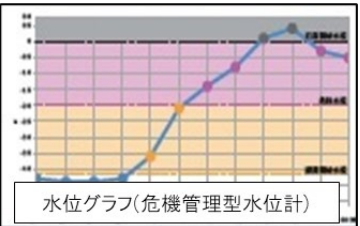
◆洪水予警報データ

国土交通省が設置している、洪水予警報（洪水予報、水位周知河川情報、水防警報、ダム放流通知）データを全国エリアで随時配信します。
また、洪水予報データに関しては地図に表示できる形式の洪水予報受け持ち区間情報データを希望する方にセットでご提供します。



◆危機管理型水位計データ

国土交通省及び都道府県が設置している、洪水時の観測に特化した水位計データを、洪水時などの観測値があらかじめ設定した観測開始水位を上回った場合に、2～10分間隔で配信します。（配信間隔は、水位計により異なります）
また、平常時は、観測所の正常動作を確認する為、1日1回程度のデータ（動作状況）の配信を行います。



◆河川カメラ画像（簡易カメラ）

国土交通省及び地方自治体が設置している、河川カメラ（簡易カメラ）画像（静止画像：jpeg形式）を5分間隔で配信します。
画像サイズは、カメラの仕様により異なりますが、概ね（1280×720）となります。



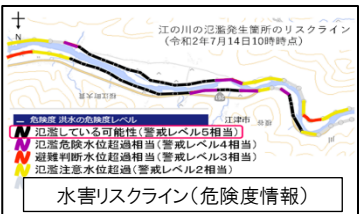
◆河川カメラ画像（CCTVカメラ）

国土交通省が設置している、河川カメラ（CCTVカメラ）画像（静止画像：jpeg形式）を10分間隔で配信します。
画像サイズは、カメラの仕様により異なりますが、概ねHD(1920×1080)／SD(720×480)となります。



◆水害リスクライン（危険度情報）：〔新規追加！〕

国土交通省が管理している河川を対象に、数km～数十kmの予報区間ごとに発表される洪水予報等に加えて縦断的な水位（水面形）を計算することにより、左右岸それぞれ概ね200mごとの洪水の危険度分布（水害リスクライン）を提供しています。
洪水の危険度レベル情報を10分間隔で、現時点から6時間先までの数値データとして配信します。



※図は配信データの加工例です。配信データには画像や数値データがあります。

新たに追加されたサービス（令和7年11月より）

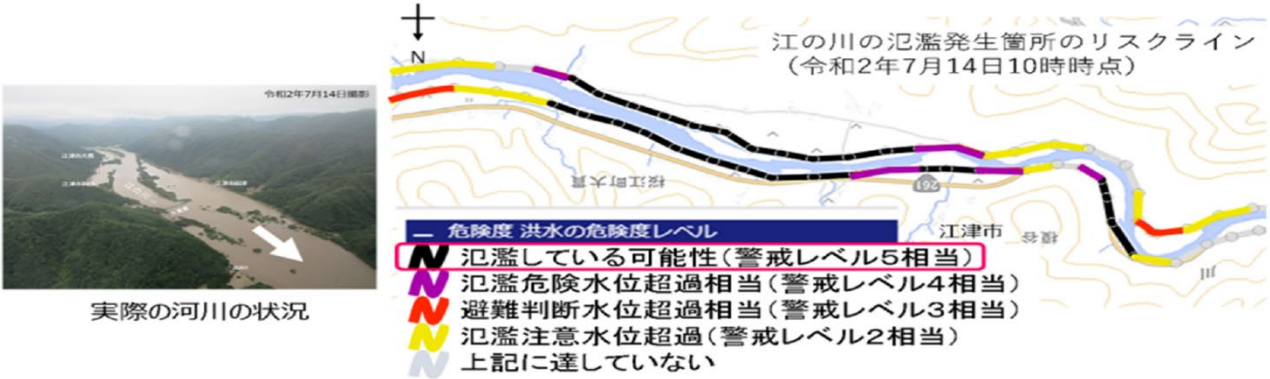
■水害リスクラインについて

国土交通省が管理している河川において、国土交通省は、数km～数十kmの予報区間を対象に発表される洪水予報等に加えて、縦断的な水位（水面形）を計算により推定し、左右岸それぞれ概ね200mごとの洪水の危険度分布（水害リスクライン）を令和2年から提供しています。

概ね200mごとに推定した水位が、堤防等の高さを基準に、氾濫の危険度レベルで表現した情報となっており、各箇所の危険度をきめ細かく把握できることから、避難情報発令の参考にできます。

※水害リスクラインのウェブページへは次のURLを参照ください。

<https://frr.river.go.jp/>



◆洪水の危険度レベルデータについて

水防災オープンデータ提供サービスでは、水害リスクラインの洪水の危険度レベル情報を10分間隔で、現時点から6時間先までの数値データとして配信します。

◆洪水の危険度レベルデータ([nnnn_yyyyMMddHHmm].json)のイメージ

洪水の危険度レベルデータ([nnnn_yyyyMMddHHmm].json)のサンプルデータと仕様説明は次の通りです。

【サンプルデータ】

【仕様説明】

```
"8303050062": {
  "features": [
    {
      "geometry": {
        "coordinates": [
          [
            15533640.917261068,
            4245780.056498142
          ],
          [
            15533542.60211319,
            4245790.208239732
          ]
        ]
      },
      "type": "LineString"
    },
    {
      "type": "Feature",
      "properties": {
        "t": "m",
        "rcd": "8303050062",
        "did": 22,
        "dst": 2.1,
        "bnk": 1,
        "d0": -3,
        "d10": -3,
        "d20": -3,
        "d30": -3,
        "d40": -3,
        "d50": -3,
        "d60": -3,
        "d70": -3,
        "d80": -3,
        "d90": -3,
        "d100": -3,
        "d110": -3,
        "d120": -3,
        "d130": -3,
        "d140": -3,
        "d150": -3,
        "d160": -3
      }
    }
  ]
}
```

d0：現在危険度

d10～d360：10～360分までの危険度
(10分ごと6時間後まで)

Key	型	必須	値の説明	備考
<rivercode>	Object	○	河川ごとのgeojson	Keyは10桁の河川コード 例) 8303030001
type	文字列	○	"FeatureCollection"固定	
features		○	type:"Feature"のObjectの配列	

type:"Feature"Object

Key	型	必須	値の説明	備考
geometry	Object	○		
type	文字列	○	"LineString"固定	
coordinates	配列[線配列]	○	距離標の座標（開始終了の2点）	
type	文字列	○	"Feature"固定	
properties	Object	○		
t	文字列	○	"m"固定	この属性値が存在することで10分単位であることを意味する
rcd	文字列	○	河川コード	
did	整数	○	距離標ID	
dst	実数	○	距離	
bnk	整数	○	岸	0:右岸、1:左岸
d0	整数	○	現在危険度	5:堤防天端高以上、 4:氾濫危険水位以上、 3:避難判断水位以上、 2:氾濫注意水位以上、 1:氾濫注意水位未満、 -1:堤防状況が山付、 -2:観測・予測の受信状況が「両方未受信」または、予測未受信、観断予測水位が「無効値」「空欄」、 -3:有効な観測値がない場合に、危険度が5～3以外
d10～d360		○	10～360分後までの危険度 10分ごと6時間後まで	同上

線配列

Key	型	必須	値の説明	備考
[0]	座標配列	○	開始座標	
[1]	座標配列	○	終了座標	

座標配列

Key	型	必須	値の説明	備考
[0]	実数	○	X座標(EPSG:3857)	
[1]	実数	○	Y座標(EPSG:3857)	

データ配信項目(一覧)

◆ XRAINデータ

データ種別	周期	配信単位
XRAIN 250m雨量・現況	1分	全国1次メッシュ単位 または 全国エリア

◆ Cバンドレーダ雨量データ

データ種別	周期	配信単位
Cバンドレーダ雨量 全国1km雨量・現況	5分	全国エリア
Cバンドレーダ雨量 全国5km雨量・現況		
Cバンドレーダ雨量 全国1km累加雨量(8種類)	5分	全国エリア

◆ テレメータデータ（国土交通省 及び 都道府県）

データ種別	周期	配信単位	備考
雨量	10分	(A)地方整備局毎 または (B)都道府県毎	(A)約2,400局 (B)約5,070局
水位	10分		(A)約2,060局 (B)約4,970局
ダム諸量	10分		(A)約190局 (B)約470局
積雪	60分	全国エリア (国土交通省所管のみ)	約110局
水質	60分		約210局
海岸	10分		約30局
洪水予報	随時	全国エリア	
水位周知河川情報			
水防警報			
ダム放流通知			

◆ 危機管理型水位計データ

データ種別	周期	配信単位	備考
危機管理型水位計	2～10分	都道府県 (国、県データ混在)	約8,330台※1

◆ 河川カメラ画像

データ種別	周期	配信単位	備考
簡易カメラ	5分	都道府県 (国、県データ混在)	約6,100台※1
CCTVカメラ	10分	都道府県 (国、県データ混在)	約4,470台※2

◆ 水害リスクライン

データ種別	周期	配信単位	備考
水害リスクライン	10分	水系	国管理河川 109水系※2

※1 配信数は自治体との協定に基づくものです。
※2 配信数は国と調整済みのものです。

2. 初期費用

初期設定及び接続作業にかかる費用です(初回のみのご負担)

区分	条件	料金(税抜き)
初期費用	専用線・閉域網利用のデータ受信者	200,000円
	インターネット利用のデータ受信者	50,000円

注) オフラインデータ(過去データ)については、別途ご相談ください。
注) 詳細は、下記のホームページをご確認ください。
注) その他、ご不明な点などありましたら、担当窓口までお問合せ下さい。

データ配信料金

1. 利用料金

区分	条件	月額(税抜き)
基本料金		
配信項目 設定費	XRAIN、Cバンドレーダ雨量、テレメータ(洪水予報、危機管理型水位計、水害リスクライン含む)、カメラ画像のうち1種類	10,000円
	上記のうち2種類	20,000円
	以降、1種類増える毎に10,000円追加	
種別料金		
XRAIN	1次メッシュ単位	
	現況：全国250mメッシュ	900円
	全国エリア	
	現況：全国250mメッシュ	135,000円
Cバンド レーダ 雨量	1次・RAWデータ	300,000円
	全国エリア	
	現況：全国1kmメッシュ	14,000円
	現況：全国5kmメッシュ	7,000円
テレメータ	累加8種類：全国1kmメッシュ	14,000円
	地方整備局単位(全国9地方分割)	
	雨量	3,500円
	水位	3,500円
	ダム諸量 ※1	2,100円
	都道府県単位	
	雨量	2,500円
	水位	1,500円
	ダム諸量	2,100円
	全国エリア	
	積雪(積雪深など)	20,000円
	水質(PHなど)	20,000円
洪水 予報 警報	海岸(潮位、波高など)	20,000円
	全国エリア	
	洪水予報	2,800円
	水位周知河川情報	2,800円
危機管理 型水位計	水防警報	2,800円
	ダム放流通知	2,800円
	洪水予報、水位周知河川情報、水防警報のセット	7,000円
	都道府県単位	
河川 カメラ 画像	危機管理型水位計	2,300円
	都道府県単位	
	簡易カメラ	2,500円
水害リス クライン	CCTVカメラ	2,500円
	水系単位	
通信回線 負担金	水害リスクライン(氾濫の危険度情報)	1,900円
	水系単位	
	水害リスクライン(氾濫の危険度情報)	1,900円
通信回線料金		
通信回線 負担金	閉域網	24,000円
	インターネット	9,600円
	専用線(DC側NW費用のみ)	実費

※3 テレメータダム諸量はデータ所有者の意向により配信されないデータがあります。詳細は、担当窓口までお問合せ下さい。

問い合わせ先：一般財団法人河川情報センター 水防災オープンデータ提供サービス 担当窓口

TEL: 03-3239-8447 E-mail: haisin-info@river.or.jp

「水防災オープンデータ提供サービス」ホームページ: <http://www.river.or.jp/koeki/opendata/index.html>